令和８年度

【令和７年10月入学を含む】

北海道大学大学院医学院

医学専攻博士課程

学生募集要項

【出願期間】

令和７年７月８日（火）～11日（金）

令和７年11月17日（月）～20日（木）

北海道大学大学院医学院

北海道大学大学院医学院博士課程概要

１．教育理念，教育目標，求める学生像，入学選抜の基本方針

医学院は，北海道大学の４つの基本理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）及び医学院の教育理念（世界をリードする先進的医学研究の推進，高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献）の下，医学・生命科学に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育・実践能力を備えた人材，ならびに健康および安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の育成を教育目標に掲げ，**「１．生命現象の解明，疾病の克服，人類の健康の増進に向けて真摯に研究に取り組むことのできる人」，「２．知的好奇心に富み，論理的な分析力，粘り強い行動力や協調性を有し，医学領域各分野において国際的なリーダーとして活躍できる人」「３．入学前に外国語（英語）の基礎的読解力と作文能力を身につけている人」を求めます。**

また，一般選抜試験では，学力試験及び出願書類等を総合して判定します。

＜評価方法と評価比重及び求める学生像と評価方法の関係性＞

（博士）

入試区分	評価方法	評価比重	上記１に係る事項	上記２に係る事項	上記３に係る事項
一般選抜	専門科目試験	◎	✔	✔	
	外国語試験	◎			✔
	出願書類	○	✔	✔	

◎は特に重視する要素

○は重視する要素

✔は各評価方法において評価する求める学生像

２．育成する人材像，学位授与の方針

医学専攻博士課程は，医学院の「教育目標」に基づき，

①国内外の大学・研究機関における国際的な研究者

②医療機関において，優れた臨床技術と研究能力を兼ね備えた臨床医・研究医

③行政機関・企業等において保健医療行政・公衆衛生に携わる高度専門職業人

として活躍できる高度な能力を有した人材を育成します。

こうした人材を育成するため，医学専攻博士課程は，医学に関連する研究の背景や状況を的確に把握し，学術的かつ国際的に重要性のある研究テーマや検証すべき仮説を立案するとともに，その妥当性を検証することにより，新たなテーマや仮説を立案して持続的に基盤医学，臨床医学又は社会医学研究領域の発展に寄与する能力を身に付けた者に博士（医学）の学位を授与します。

３．教育課程の基本的な考え方

医学専攻博士課程は，「育成する人材像」に掲げる人材を育成するため，これまでの学問領域の枠を越え，互いに関連する分野の基礎的知識・技術の修得をはかる融合教育を展開します。また，多様化した社会のニーズに対応できる人材を育成するために，学修課題を複数の科目を通して体系的に履修する３つのコースワークを導入し，人材養成の目的に応じた最善のコースの選択履修を可能にします。

【基盤医学コース】

医学・生命科学領域での研究者および教育者の育成を目的とする基盤医学コースは，将来，研究者として自立できるだけの幅広い専門知識と研究に必要な実験のデザインなどの研究手法や研究遂行能力を修得するコースです。さらに専門的知識を学際的な医学・生命科学研究に活用・応用する能力を培います。

【臨床医学コース】

優れた臨床技術と研究能力を兼ね備えた臨床医等の育成を目的とする臨床医学コースは，従来のモデル動物や細胞を用いた基礎医学研究手法を駆使した研究ではなく，人を対象とした臨床医学研究遂行能力を修得するコースです。

また，大学病院で診ることのできない症例や大学病院に無い高度かつ専門的な診断・検査・治療を行っている特色ある医療機関に設置している「臨床系連携講座」において，専任教員と第一線の臨床医である

連携教員による複数指導体制の下で，理論と実践を融合した臨床医学研究を行うことも可能です。

【社会医学コース】

地域社会や国際的なレベルの健康・安全の維持・向上に幅広い知識と高い技能をもって取り組むことのできる人材を育成することを目的とする社会医学コースは，生物学，生命科学的アプローチとは異なる社会医学的，予防医学的視点から，研究倫理，統計学の基礎と応用，医療情報学，EBM（エビデンスに基づく医療）などの社会医学研究法を修得した上で，公衆衛生学や予防医学分野における研究手法や研究遂行能力を培います。

※　コースは出願時に選択し，入学後に決定します。又，在学中にコースを変更することも可能です。

４．教育課程の特色

医学専攻博士課程では，「共通コア科目」，「必修科目」，「選択科目」の３つの区分で授業科目を開講します。

共通コア科目は，大学院教育において基本となる素養の涵養を目的とした科目であり，全てのコースにおいて必修とします。この科目では，医学研究に関する基本的かつ体系的知識を提供する「医学研究概論」をはじめ，研究計画の立案，疫学や生物統計の基礎などを学ぶ「実験・研究計画法」，北海道大学の教育理念の一つである全人教育を踏まえ，医学に携わる者として生命倫理観を涵養する「医倫理学」，英語による口頭発表や論文作成の技術の修得する「研究発表技法Ⅰ・Ⅱ」，基礎研究で得られた成果を臨床現場で新しい医療技術・医薬品として確立することを目的とした橋渡し研究の理解を促す「トランスレーショナルリサーチ概論」を開講します。

必修科目は，当該専門研究分野の深い知識のみならず，幅広い分野の知識の修得を目的として，それぞれのコースの教育目標に対応した科目として開講します。さらに，学生が入学後に配属される教室の研究指導教員が科目責任者となり，博士論文の作成に必要な能力の涵養を目的とした実習を開講します。

選択科目は，コースを越えた幅広い視野や専門分野の枠を越えた専門的知識の修得を目的とした科目を開講します。

区分		授業科目	単位	備考
共通コア科目		医学研究概論	1	
		実験・研究計画法	1	
		医倫理学	1	
		公開発表演習	1	
		研究発表技法Ⅰ	1	
		研究発表技法Ⅱ	2	
		トランスレーショナルリサーチ概論	1	
必修科目	基盤医学コース	医学研究法Ⅰ	1	３つのコースのうちから１つのコースを選択し，当該コースに係る全ての授業科目を履修すること
		医学研究法Ⅱ	1	
		基盤医学研究	10	
	臨床医学コース	臨床医学研究法Ⅰ	1	
		臨床医学研究法Ⅱ	1	
		臨床医学研究	10	
	社会医学コース	社会医学研究法Ⅰ	1	
		社会医学研究法Ⅱ	1	
		社会医学研究	10	
選択科目		※医学総論	［2］	所属教室の開講する「医学総論」2単位以上を含み，10単位以上を修得すること
		大学院共通授業科目		
		他の研究科等の授業科目		
		必修科目で選択したコース以外の必修科目（各コースの医学研究を除く。）		

※単位欄の数字に［ ］のつけてある授業科目は，講義題目が異なるものであれば複数個履修することができる。

○修了要件

大学院に４年（優れた業績を上げた者は３年）以上在学し，30単位以上を修得し，かつ必要な研究指導を受けたうえ博士論文の審査及び試験に合格すること。

○履修方法

共通コア科目から８単位，履修する教育コースの必修科目から12単位，選択科目から所属教室開講の医学総論を含めた10単位以上を修得すること。

令和８年度北海道大学大学院
医学院医学専攻博士課程学生募集要項

１．専攻及び募集人員

医学専攻　90名（社会人若干名を含む）

出願に先立ち，志望する教室の指導予定教員（15ページから20ページ「医学院の組織及び主な研究内容」参照）へ詳細な研究内容・研究計画について事前に照会・確認してください。

※　社会人とは，官公庁，研究所，病院等に勤務し，入学後もその職を有する者のことです。

２ －１．出願資格（令和８年４月入学）

医学専攻博士課程に入学できる者は，次の各号のいずれかに該当する者とします。

（１）大学における医学，歯学又は修業年限６年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者又は令和８年３月31日までに卒業見込みの者

（２）外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は修業年限６年の医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了した者又は令和８年３月31日までに修了見込みの者

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は修業年限６年の医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了した者又は令和８年３月31日までに修了見込みの者

（４）我が国において，外国の大学課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は修業年限６年の医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和８年３月31日までに修了見込みの者

（５）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が５年以上である医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（４）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和８年３月31日までに学位を授与される見込みの者

（６）文部科学大臣の指定した者（注記１及び注記２参照）

（７）令和８年３月31日までに，次のいずれかに該当する者であって，本学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者（注記２参照）

①大学（医学，歯学，獣医学又は修業年限６年の薬学を履修する課程に限る。）に４年以上在学した者

②外国において学校教育における16年の課程（医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者

③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者

④我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣

が別に指定するものの当該課程を修了した者

（8）本学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和8年3月31日までに24歳に達する者（注記2参照）

注記1　文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）

（ア）旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し，これらの学部を卒業した者

（イ）防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者又は令和8年3月31日までに卒業見込みの者

（ウ）修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者（令和8年3月31日までに修了見込みの者を含む）並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本学の大学院又は専攻科において，大学の医学，歯学，獣医学又は修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（エ）下記の課程を卒業又は修了後，大学，研究所等において2年以上研究に従事した者で，本学の大学院又は専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，獣医学又は修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

①　大学（医学，歯学，獣医学又は修業年限6年の薬学を履修する課程を除く。）を卒業

②　外国において学校教育における16年の課程を修了

注記2　出願資格（6）の注記1（エ），（7）又は（8）により出願する場合は，出願に先立ち「3．出願手続き（4）出願資格審査」により申請してください。

2 －2. 出願資格（令和7年10月入学）

医学専攻博士課程に入学できる者は，次の各号のいずれかに該当する者とします。

（1）大学における医学，歯学又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者又は令和7年9月30日までに卒業見込みの者

（2）外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は修業年限6年の医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了した者又は令和7年9月30日までに修了見込みの者

（3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は修業年限6年の医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了した者又は令和7年9月30日までに修了見込みの者

（4）我が国において，外国の大学課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は修業年限6年の医学，歯学，獣医学又は薬学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年9月30日までに修了見込みの者

（5）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が5年以上である医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設で

あって（４）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和７年９月30日までに学位を授与される見込みの者

（６）文部科学大臣の指定した者（注記１及び注記２参照）

（７）令和７年９月30日までに，次のいずれかに該当する者であって，本学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者（注記２参照）

①大学（医学，歯学，獣医学又は修業年限６年の薬学を履修する課程に限る。）に４年以上在学した者

②外国において学校教育における16年の課程（医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者

③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者

④我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（医学，歯学，獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（８）本学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和７年９月30日までに24歳に達する者（注記２参照）

注記１　文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）

（ア）旧大学令（大正７年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し，これらの学部を卒業した者

（イ）防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者又は令和７年９月30日までに卒業見込みの者

（ウ）修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第２項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者（令和７年９月30日までに修了見込みの者を含む）並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む。）で本学の大学院又は専攻科において，大学の医学，歯学，獣医学又は修業年限６年の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（エ）下記の課程を卒業又は修了後，大学，研究所等において２年以上研究に従事した者で，本学の大学院又は専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，獣医学又は修業年限６年の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

①大学（医学，歯学，獣医学又は修業年限６年の薬学を履修する課程を除く。）を卒業

②外国において学校教育における16年の課程を修了

注記２　出願資格（６）の注記１（エ），（７）又は（８）により出願する場合は，出願に先立ち「３．出願手続き（４）出願資格審査」により申請してください。

3．出願手続

（1）出願期間

【前期試験】令和７年７月８日（火）から令和７年７月11日（金）まで

【後期試験】令和７年11月17日（月）から令和７年11月20日（木）まで

受付時間：土・日・祝日を除き午前９時から午後５時まで

出願期間内必着。窓口に持参する場合も所定の封筒に書類を入れて提出してください。

なお，「２．出願資格（６）の注記１(エ)，（７）又は（８)」により出願する場合は，事前に出願資格審査をするので，「(４) 出願資格審査」の申請期間内（前期試験:令和７年６月12日（木）まで，後期試験:令和７年10月28日（火））に所定の必要書類等を添え申請してください。

（2）出願書類及び検定料

入学願書	必要事項を記入し，写真（縦４㎝・横３㎝，正面向き・上半身・脱帽，出願日前３カ月以内に撮影したもの）を，裏面に氏名を記入のうえ，指定欄に貼付してください。
成績証明書	出身大学（学部）長が作成したものの原本。コピー不可。 大学院へ進学した者は，大学院の成績証明書も併せて提出してください。 なお，本学医学部医学科卒業（見込）者又は本学医学院（医学研究科）修士課程修了（見込）者は，提出不要です。 また，現姓名と異なる場合は改姓を証する書類（戸籍抄本等）を添付してください。
卒業（見込）・修了（見込）証明書	出身大学（学部）長が作成したものの原本。コピー不可。 既卒の場合，学位情報が記載されていることを確認してください。 大学院へ進学した者は，大学院の修了（見込）証明書を併せて提出してください。 なお，本学医学部医学科卒業（見込）者又は本学医学院（医学研究科）修士課程修了（見込）者は，提出不要です。 また，現姓名と異なる場合は改姓を証する書類（戸籍抄本等）を添付してください。 中国（台湾，香港，マカオを除く）の大学を卒業（見込）の者は，以下の書類を全て提出してください。 既卒者 a 卒業証明書 b 学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）（英語版） c 所属大学の原本証明を受けた卒業証書（毕业证书）の写し d 所属大学の原本証明を受けた学位証書（学位证书）の写し 卒業見込者 a 卒業見込み証明書 b オンライン在籍認証レポート（教育部学籍在线验证报告）（英語版） 書類 b は中国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）より取得してください。また，提出時点で Web 認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。 書類 c，d について，所属大学の原本証明を受けられない場合は，医学系事務部総務課医学院教務担当へ事前に相談してください。
受験票・写真票	必要事項を記入し，写真（縦４㎝・横３㎝，正面向き・上半身・脱帽，出願日前３カ月以内に撮影したもの）を，裏面に氏名を記入のうえ，指定欄に貼付してください。
受験票送付用封筒	所定封筒に410円分の切手を貼付し，郵便番号・住所及び宛名を明記してください。
宛名票	所定用紙の３カ所全てに郵便番号・住所及び宛名を明記してください。
入学検定料	30,000円 最寄りのゆうちょ銀行又は銀行において，添付の振込用紙（ゆうちょ銀行・銀行併用型，５票式）により納付してください。【ATM 使用不可】 なお，本学大学院修士課程修了見込で引き続き本学院博士課程を受験する場合，又は国費外国人留学生（文部科学省奨学金受給者）は不要なので，願書提出の際に，必ずその旨申し出てください。

検定料受付証明書台紙	氏名を記入し，上記の入学検定料を納付した際に交付される「検定料受付証明書Ｅ」を指定欄に貼付してください。
在留カードのコピー ※外国籍者のみ	在留資格を問わず提出してください。日本国外に居住する者はパスポートのコピーを提出してください。
社会人入学志望者は，上記書類のほか，次の書類を提出すること。ただし，勤務医は不要。 ①　志望理由書（関心をもつ分野，研究計画，将来の目標をＡ４判用紙に記載したもの） ②　これまでの学会発表・論文発表等の活動，あるいは勤務先での業務内容等（Ａ４判用紙に記載したもの）	

（３）身体に障害がある者の申し出

身体に障害がある者で，受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は，前期試験: ６月12日（木），後期試験:10月28日（火）までに「（５）出願書類及び出願資格審査申請書類の提出先」へ申し出てください。

（４）出願資格審査

ア）申請期間

【前期試験】令和７年６月11日（水）から令和７年６月12日（木）まで

【後期試験】令和７年10月27日（月）から令和７年10月28日（火）まで

受付時間：土・日・祝日を除き午前９時から午後５時まで

申請期間内必着。

イ）提出書類

「（２）出願書類及び検定料」の欄に記載されている出願書類及び次の書類を提出してください。

ただし，入学検定料の振込みは，資格審査の結果を受けた後，支払期限までに添付の振込用紙により振込み，「検定料受付証明書Ｅ」を検定料受付証明書台紙に貼付の上，「（１）出願期間」に記載されている期間内に「（５）出願書類及び出願資格審査申請書類の提出先」に提出してください。

<table>
<tr><td>出願資格審査申請書</td><td colspan="2">所定用紙</td></tr>
<tr><td>返信用封筒</td><td colspan="2">審査結果通知用：定形封筒に宛先を明記し，410円分の切手を貼付してください。</td></tr>
<tr><td>以下の書類は，出願資格に応じて提出する</td><td>出願資格</td><td>提出書類内容</td></tr>
<tr><td>研究歴証明書</td><td>(6)の注記1(エ)</td><td>研究に従事した大学又は研究所等が発行したもの</td></tr>
<tr><td rowspan="2">これからの研究課題及び研究計画</td><td>（７）①</td><td rowspan="2">Ａ４判用紙により2,000字程度</td></tr>
<tr><td>（８）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">推薦書</td><td>（７）①</td><td>在学大学（学部）長の推薦書（様式任意）</td></tr>
<tr><td>（８）</td><td>研究した機関又は実務経験の機関の長等による研究内容又は実務内容の能力に関する推薦書（様式任意）</td></tr>
<tr><td>大学（医学，歯学，獣医学及び修業年限６年の薬学の課程）を卒業した者と同等以上と思われる学歴及び資格等の証明書又は自己の能力を証する論文，著書，報告書等</td><td>（８）</td><td>・学歴・資格等の証明書
・論文の抜き刷り，著書及び報告書等のコピーなど</td></tr>
</table>

※審査する上で必要と認めた場合は，上記以外の書類の提出を求めることがあります。

ウ）申請書類の提出方法

郵送（書留速達）により提出するものとし，封筒表面に「博士課程出願資格審査申請書」在中と明記してください。

エ）出願資格審査の方法

申請書類により出願資格審査を行います。

オ）出願資格審査の結果通知

出願期間までに出願資格審査結果を郵送により通知します。

（5）出願書類及び出願資格審査申請書類の提出先

〒060-8638　札幌市北区北15条西７丁目
北海道大学医学系事務部総務課医学院教務担当
電話（011)706-5018

4．入学者選抜方法

学力試験，成績証明書及びその他の提出書類を総合して判定します。

5．試験日程及び試験室

試　験　日	試験時間	試験科目	試験区分	試　験　室
【前期試験】 **令和７年８月19日（火）**	10:20～10:30	（諸　注　意）		受験票発送時に併せて通知する。
	10:30～12:30	外国語（英語）	筆　　答	
【後期試験】 **令和８年１月14日（水）**	13:30～	専　門　科　目	筆答又は口頭	試験当日指示する。

6．受験時の留意事項

（1）試験当日の集合時間・集合場所については，受験票発送時に併せて通知するので，指定する時間・場所に集合してください。

（2）外国語（英語）の受験に際しては，辞書の持込は不可とします。

7．合格者の発表

【前期試験】令和７年９月５日（金）午前10時

【後期試験】令和８年２月６日（金）午前10時

受験者へ郵送により通知します。
また午前10時頃，医学院ホームページ上に合格者受験番号を掲載します。
なお，電話等による合否の問い合わせには応じません。

8．入学手続き等

入学手続きの概要は次のとおりです。（詳細は合格者に別途通知します。）

（1）入学手続期間（土曜日及び日曜日を除く）

【令和７年10月入学】

令和７年９月10日（水）から令和７年９月12日（金）まで

【令和８年４月入学】

令和８年３月９日（月）から令和８年３月13日（金）まで

※期間内に所定の手続きを行わない場合は，入学の許可を取り消す場合がありますので，ご留意ください。

（2）入学料及び授業料

ア）入学料：納入金額　　282,000円【予定額】

なお，本学の大学院修士課程修了見込の者で，引き続き本学院博士課程へ入学する場合又は国費

外国人留学生（文部科学省奨学金受給者）は納入不要なので，必ずその旨申し出てください。

イ）授業料：納入金額　半期分267,900円（年額535,800円）【予定額】

① 授業料については，入学後，翌月中旬に本学から振込用紙を送付するので，その振込用紙を使用して納入してください。

② 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな学生納付金が適用されます。

ウ）入学料及び授業料には徴収猶予・納付減免の制度があります。詳細は合格者に通知します。

9．注意事項

（1）欠員が生じた場合は，第２次募集を実施します。実施内容は，概ね本募集要項のとおりですが，詳細については，１月下旬に公表予定の募集要項により確認してください。なお，日程については，次のとおりです。

出願資格審査：令和８年１月15日（木）から令和８年１月16日（金）まで

出 願 期 間：令和８年２月４日（水）から令和８年２月６日（金）まで

試　 験　 日：令和８年２月17日（火）

（2）入学願書の志望教室欄については，本募集要項の15ページから20ページに掲載されている「医学院組織及び主な研究内容」を参照し，指導予定教員に当該教室の詳細な研究内容･研究計画を事前に照会･確認の上，記入してください

（3）出願書類に不備がある場合は受理しないので，誤記，記入漏れのないよう注意してください。

（4）出願書類の変更には応じません。

（5）既納の検定料は，次の場合を除き，返還しません。

ア）検定料を納付したが出願しなかった場合又は出願書類に不備があり，受理されなかった場合

イ）検定料を誤って二重に納付した場合

※　返還には相当の日数を要する。

上記に該当する場合は，次ページの「問い合わせ先」へ請求してください。

なお，返還請求書類として，検定料納付後，金融機関から受け取る「検定料受付証明書Ｅ」又は「振替払込請求書兼受領書（振込金（兼手数料）受領書）Ｄ」が必要になるので，紛失しないよう注意してください。

（6）出願書類の記載事項が事実と相違する場合は，入学を取り消すことがあります。

（7）入学及び受験に関する照会については，所定の郵送料分の切手を貼付した返信用封筒を同封の上，行ってください。

10. 過去の入試問題について

本学院の入学試験問題のうち，外国語（英語）の試験問題については，過去３年分を公表しているので，希望者は「医学院博士課程入学試験過去問題請求」と明記したメモ用紙及び返信用封筒（角形２号封筒に宛名を明記し，320円分の切手を貼付したもの）を同封の上，次ページの「問い合わせ先」へ申し込むこと。

11. 長期履修制度について

本学大学院では長期履修制度を設けているので，同制度の適用を希望する者は，13ページ掲載の「長期履修制度について」を熟読の上，申請してください。

12. 個人情報の取り扱いについて

（1）本学院では，個人情報の取扱いについては，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「EU 一般データ保護規則」を遵守するとともに，「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」

に基づき，保護に万全を期しています。

（2）出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選考実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜実施方法等に関する調査・研究，及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

（3）合格者のみ，（2）の個人情報を入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請，入寮選考，福利厚生等），③就職支援関係，④授業料等に関する業務，⑤附属図書館利用に関する業務，⑥情報教育施設利用に関する業務，⑦災害緊急時の安否確認・連絡等に関する業務，⑧広報関係（広報物，行事のご案内等の送付）に利用します。

（4）入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。

（5）北大フロンティア基金（北海道札幌市北区北８西５，011-706-2017）及び本学関連団体である北海道大学体育会（北海道札幌市北区北17条西７，011-716-4815）から，当該組織への加入活動に係る情報提供の要請があった場合は，（2）の個人情報について，当該組織の活動に必要な範囲に限り提供することがあります。

（6）（2）の個人情報は，取得した年度の翌年度から５年間保存されます。

（7）本学による個人情報の取り扱いは，EU 一般データ保護規則第６条第１項（a）を根拠とし，当該同意に基づき，個人情報を取扱います。個人情報は，法令等に基づく場合を除き，同意のあった取扱い目的のみに使用されます。

（8）（7）の同意は，いつでも撤回することができます。また，撤回前の同意に基づく適法な取扱いに影響を与えるものではありません。

（9）個人情報の提供者は，本学に対して EU 一般データ保護規則及び関係法令等に基づいて，次の①～⑥を要求することができます。

①個人情報の開示，②個人情報の訂正，③個人情報の消去，④個人情報の取扱い制限，⑤個人情報の取扱いへの異議申し立て，⑥他の事業者への個人情報の移転

(10) EEA（欧州経済領域）域内で個人情報を提供した者は，本学の個人情報の取扱い等に不服がある場合，EU 一般データ保護規則第51条第１項に基づく監督機関へ申し立てることができます。

(11) 上記（2）～（5）の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限り，お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

13. 外国籍の出願者への留意事項

（1）ビザ／在留資格について

本学で外国人留学生として在籍するには，在留資格「留学」を取得する必要があります。在留資格「留学」の申請に必要な「在留資格認定証明書」は，申請から発行までに３ ヶ月以上かかる場合もありますので，あらかじめご了承願います。なお，在留資格取得にかかる手続きについては，以下の本学 web サイトを参照してください。

《外国人留学生ハンドブック掲載サイト》https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/preparation/visa

（2）安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「北海道大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出，技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合があります。安全保障輸出管理にかかる具体的な規制事項等の詳細については，以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省ウェブサイト》https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

令和７年５月

北海道大学大学院医学院
〒060－8638　札幌市北区北15条西７丁目

【問い合わせ先】
北海道大学医学系事務部総務課医学院教務担当
電話（011）706-5018
d-tanto@med.hokudai.ac.jp

長期履修制度について

１．長期履修の趣旨

長期履修制度とは，学生が職業を有している等（介護･育児等を含む）の事情により，標準修業年限（４年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修したい旨を申し出たときは，個別に審査のうえ，その計画的な履修（以下「長期履修」といいます。）を認めることができる制度です。

２．長期履修の対象者

次の各号のいずれかの事由に該当する者で，かつ，当該事由により，学業に専念できないため，課程修了に要する学修（研究）計画年数を予め長期に設定することを希望する者が申請できます。

（１）官公庁，企業等に在職している者（給与の支給を受け，職務を免除されている者を除く。）又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者

（２）アルバイト，パートタイム等の職業に就いている者で，その負担により修学に重大な影響がある者

（３）育児・親族の介護等前２号に準ずる負担により，修学に重大な影響がある者

（４）視覚障害，聴覚障害，肢体不自由その他の障害を有している者で，その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めた者

３．長期履修期間

長期履修による修業年限の期間は，博士課程にあっては６年以内で，年を単位として申請することができます。

また，本学院において休学を許可することができる期間は，長期履修学生も標準修業年限の学生と同じく４年間です。

４．長期履修の手続き等

（１）申請期限

長期履修を希望する者に個別にお知らせしますので，入学願書提出時に医学院教務担当に申し出てください。

（２）提出書類等

次の書類等を医学院教務担当あて提出してください。

① 長期履修申請書（様式１-１）

② 理由書（様式２）

③ 長期履修計画書（様式３）

④ 長期履修が必要であることを証明する書類等

５．長期履修期間の短縮又は延長

本学院において必要と認めるときは，長期履修期間の短縮又は延長を在学する課程においていずれか１回に限り認めることができます。

手続きについては，医学院教務担当に照会してください。

６．授業料の取扱い

入学時に長期履修が認められた者の授業料は，概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額（年額×４年）を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定します。ただし，納入済みの授業料を遡って調整することはありません。**【長期履修申請期間に係る授業料は，決定通知があるまで絶対に納入しないでください。】**

北海道大学大学院医学院 CLARC プログラムについて

CLinic And Research Combination プログラム

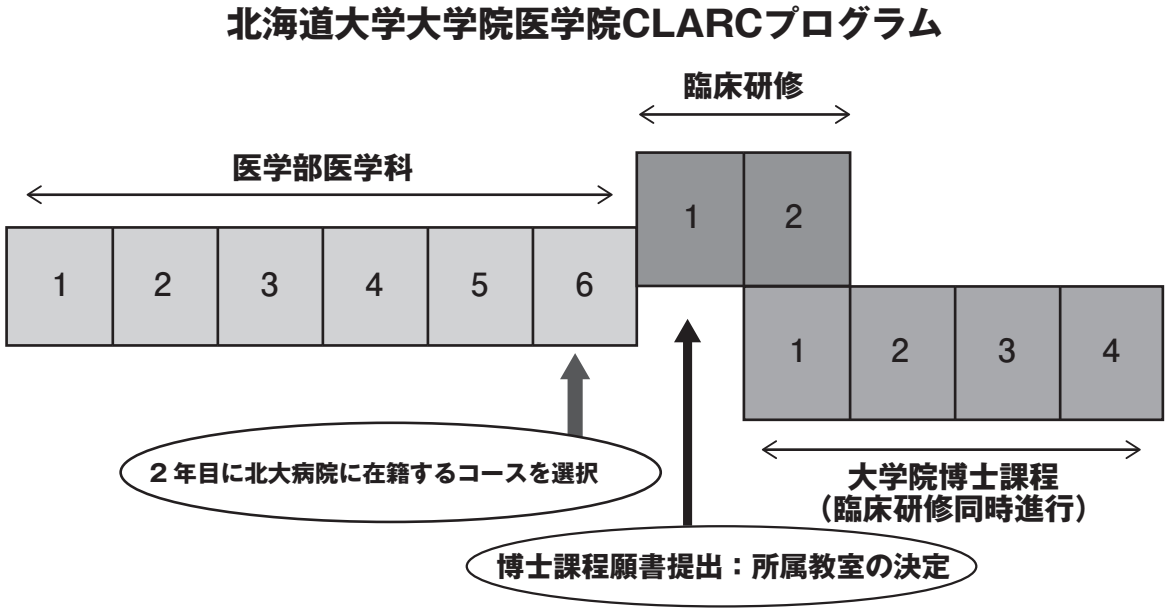
CLARC プログラムとは臨床研修２年目に大学院に入学し，臨床研修と大学院での学修を併行して行えるプログラムです。

臨床研修を主体とし，平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けるプログラムです。

このプログラムを選択するためには北海道大学病院の卒後研修プログラムのうち，２年目に北海道大学病院に在籍する研修コースを選択しなければなりません。

また，地域医療研修やプライマリ・ケア / 初期救急での１～４ヶ月の期間は一時大学院での履修を中断できるので，安心して研修に従事できます。基礎系の教室の教員も指導教員として選択できます。

なお，このプログラムを希望する場合は，入学願書の所定の欄を○印で囲んでください。



医学院の組織及び主な研究内容

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
生化学	分子生物学	畠山鎮次 教授（兼担）	※2 1．細胞統合性基盤としての代謝と核内ジオメトリー 2．細胞内オルガネラ動的ナノ構造 3．癌治療抵抗性の分子基盤
	医化学	畠山鎮次 教授	1．タンパク質分解システムにおけるユビキチン化の役割 2．がんや免疫における細胞内シグナル伝達 3．質量分析によるタンパク質・脂質の機能解析
解剖学	解剖発生学	藤山文乃 教授（兼担）	※2 1．シグナル伝達の分子発現と機能発現 2．グリアによる脳の機能調節 3．シナプス回路発達の分子機構
	組織細胞学	藤山文乃 教授	※2 1．中枢神経回路の構造と機能 2．パーキンソン病の病態解明
生理学	細胞生理学	大場雄介 教授	1．バイオイメージングによる細胞生理機能の可視化 2．細胞内・細胞間シグナル伝達の制御メカニズム 3．バイオイメージング技術の開発と応用
	神経生理学	田中真樹 教授	1．随意運動の神経機構 2．前頭葉皮質の機能解析 3．大脳基底核の機能解析 4．小脳の機能解析
薬理学	神経薬理学	吉川雄朗 教授	1．ヒスタミン神経系に関する神経薬理学的研究 2．覚醒における神経ペプチドの機能解明 3．ナルコレプシーを標的とした創薬研究 4．ヒアルロン酸分解酵素の分子生物学的研究 5．カルシウムイメージングと機械学習を用いた睡眠と記憶の神経活動解明
	細胞薬理学	吉川雄朗 教授（兼担）	※2 1．たばこ煙成分が細胞機能に及ぼす影響の解析 2．好中球の活性化及びその制御機構に関する研究
病理学	統合病理学	谷口浩二 教授	1．炎症とがんに関する研究 2．炎症と組織再生に関する研究 3．自己免疫，炎症性疾患の病態形成に関する研究 4．タイト結合に関する研究 5．難治性がん病態解明のための新しい cancer-on-chip の開発 6．人体病理学・外科病理学
	腫瘍病理学	田中伸哉 教授	1．外科病理・人体病理学に関する総合的な研究 2．がん発生メカニズム，がん幹細胞，がん治療法開発に関する研究 3．疾患の網羅的遺伝子プロファイルの解析 4．バイオイメージング・迅速免疫染色法を用いた疾患の病理学的研究 5．バイオマテリアルを用いた細胞のリプログラミングの研究 6．脳腫瘍，軟部腫瘍に関する NGS を用いた病理診断法の研究 7．学生の興味に応じた自由な研究
	分子診断病理学	田中伸哉 教授（兼担） 外丸詩野 准教授	※2 1．外科病理診断学（細胞病理診断学を含む）の研究 2．新しい分子マーカーを用いた病理学的診断法の開発・応用に関する研究 3．病理診断の精度向上と標準化の推進に関する研究 4．臨床病理学的解析を基盤とする種々の臓器がんの生物学的・臨床的特性の解明
微生物学免疫学	免疫学	小林弘一 教授	1．TLR 及び NLR 蛋白ファミリーによる宿主防御メカニズムに関する研究 2．自然免疫系と感染症および炎症性疾患の発症メカニズムに関する研究 3．Nod 2 による腸管粘膜恒常機構とクローン病発症メカニズムに関する研究 4．CITA/NLRC 5: MHC クラスⅠ遺伝子のマスター制御因子に関する研究 5．がん細胞の免疫逃避メカニズムに関する研究 6．新規がんバイオマーカーと免疫療法の開発に関する研究 7．癌およびコロナウイルスに対する新規ワクチン療法の開発

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
微生物学 免疫学	病原微生物学	小林弘一 教授 （兼担）	※2 1．肝炎ウイルス（HBV，HCV）の増殖性に関わるウイルス因子および宿主因子に関する研究 2．ウイルス感染による病原性発現機構の分子生物学的及び実験動物モデルを用いた研究 3．ウイルス感染症（コロナウイルス，フラビウイルス）の診断法および抗ウイルス薬開発に関する研究 4．人獣共通感染症（ハンタウイルス，フラビウイルス）の疫学的，分子生物学的研究
社会医学	衛生学	上田佳代 教授	1．環境疫学に関する研究 2．集団レベルの健康介入に関する準実験デザイン（分割時系列解析，操作変数法） 3．医療・介護施設における気候変動・自然災害・感染症流行など非常時の対応に関する研究 4．認知症の行動・心理症状に関する疫学研究 5．気候変動・グローバル環境による健康影響評価
	公衆衛生学	玉腰暁子 教授	1．中高齢者の食，運動，社会環境等と健康に関する調査研究 2．児の健康，発達に関連する要因の妊娠期からの調査 3．不妊予防と治療支援に関する研究 4．新型コロナウイルス感染症罹患後症状に関する研究
	法医学	的場光太郎 教授	1．法医診断学に関する研究（死因，死後経過時間，損傷，窒息，個人識別，死後CT画像診断） 2．外因性異常所見の発生機序に関する研究
	医療政策評価学	古元重和 教授	1．高齢化人口減少社会における，医療・介護の提供体制に関する研究 2．がんをはじめとする疾病対策に関する研究 3．レセプト等の行政データベースを用いた計量経済学的手法による医療介護政策の評価 4．健康で自立した生活を実現するためのイノベーション利活用に関する研究 5．医療技術評価（HealthTechnologyAssessment）に関する研究
	医学統計学	田中伸哉 教授 （兼担） 横田勲 准教授	※1 1．多変量生存時間アウトカム全般に関する研究 2．診断法・予測モデル構築のための方法論研究 3．臨床試験デザインの開発研究 4．柔軟性を持たせた経時測定データとの同時モデル 5．大規模データベース・公的データベース等を用いた臨床疫学研究
	医学教育・総合診療医学	高橋誠 教授	1．指導方法や教材の開発に関する研究 2．評価方法の開発に関する研究 3．学習行動に影響する要因に関する研究 4．医師のキャリア選択に影響する要因に関する研究
	レギュラトリーサイエンス	荒戸照世 教授	※2 1．先端バイオ医薬品の開発に必要とされる試験内容に関する研究 2．稀少疾病用医薬品の開発戦略に関する研究 3．医薬品・医療機器の製造販売後調査に関する研究
	医療安全管理学	南須原康行 教授	※2 1．安全な医療を提供するための組織的対応についての研究 2．医療安全管理者育成方法の研究 3．医療事故調査方法の標準化に関する研究
	ヘルスデータサイエンス	伊藤陽一 教授	1．リアルワールドデータの取得方法に関する情報学的研究 2．リアルワールドデータのデータ管理に関する研究 3．リアルワールドデータの研究デザインおよび解析方法に関する研究
	臨床遺伝学・医療倫理学	山田崇弘 教授	1. ゲノム医療における二次的所見の開示に関する研究 2. 新生児スクリーニングと遺伝カウンセリングに関する研究 3. 遠隔遺伝カウンセリングに関する研究 4. 発症前遺伝学的検査に関する研究 5. 出生前遺伝学的検査と遺伝カウンセリング提供体制に関する研究

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
内科学	呼吸器内科学	今野　哲　教授 榊原　純　教授	1．喘息 /COPD に関する前向きコホート研究 2．呼吸器腫瘍の病因・診断・治療に関する研究 3．慢性気道疾患，びまん性肺疾患の分子病態生理に関する研究 4．肺循環疾患および心サルコイドーシスの病態・診断・治療に関する研究 5．呼吸器感染症に関する基礎 / 臨床研究
	免疫・代謝内科学	渥美達也　教授 西尾妙織　教授	1．膠原病の基礎的及び臨床的研究 2．糖尿病・肥満症の病態生理・治療に関する研究 3．内分泌疾患の病態生理・治療に関する研究 4．腎疾患の基礎的及び臨床的研究
	消化器内科学	坂本直哉　教授 小野尚子　教授	1．肝疾患の病態生理，診断，治療に関する研究 2．膵臓，胆道疾患の病態生理，診断，治療に関する研究 3．消化器悪性腫瘍の病態生理，診断，治療に関する研究 4．炎症性腸疾患の病態生理，治療に関する研究 5．消化器疾患の病態生理，診断，治療に関する研究
	循環器内科学	安斉俊久　教授 永井利幸　准教授	1．虚血性心疾患の病態生理・診断・治療に関する研究 2．心不全の病態生理・治療に関する分子生物学的並びに臨床的研究 3．心筋症の成因・診断・治療に関する研究 4．生活習慣病の発症機構・診断・治療に関する研究 5．不整脈の成因・診断・治療に関する研究 6．心疾患の非侵襲的診断法の開発
	腫瘍内科学	今野　哲　教授 （兼担）	※1 1．悪性腫瘍全般に亘る診断，治療に関する研究 2．肺癌・縦隔腫瘍の分子病態，診断，治療に関する研究 3．消化器癌の分子病態，診断，治療に関する研究 4．癌薬物療法に関する総合的研究 5．癌の分子標的治療に関する研究 6．癌のゲノム解析及びコンパニオン診断，個別化治療に関する研究
	血液内科学	豊嶋崇徳　教授	1．造血器悪性腫瘍の分子病態・診断・治療に関する研究 2．造血幹細胞移植および免疫細胞療法の安全性・有効性向上を目指す研究 3．造血のしくみを解明するための研究 4．悪性腫瘍及びウイルス感染症に対する細胞療法の開発 5．AIDS など免疫不全症の発症機序，診断，治療に関する研究 6．輸血医学に関する研究 7．血小板機能及び血液凝固線溶に関する研究
	健康管理医学	朝倉　聡　教授	1．ストレスと健康障害に関する研究 2．健康診断における EBM に関する研究 3．産業精神保健に関する研究 4．青年期精神保健に関する研究 5．精神疾患の治療介入に関する研究
	がんゲノム医療学	木下一郎　教授	※2 1．がんのゲノム解析に関する研究 2．がんのゲノム異常に関する研究 3．がんのエピゲノム変化に関する研究 4．がんの新規バイオマーカーの開発 5．がんの分子標的治療に関する研究
放射線科学	放射線治療学	青山英史　教授	1．外照射治療の研究 2．高精度 X 線治療に関する研究 3．粒子線・陽子線治療の研究 4．医学物理学に関する研究 5．放射線治療に関わる生物学的研究
	画像診断学	工藤與亮　教授	1．CT，MRI，超音波，核医学画像等の画像診断の研究 2．血管造影・画像下治療（IVR）の研究 3．アイソトープ治療の研究 4．動態機能画像解析・AI 画像解析の研究 5．造影剤・放射性医薬品の合成に関する研究 6．安定同位体・放射性同位体を用いた分子イメージングに関する研究

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
外科学	消化器外科学Ⅰ	武冨紹信 教授	1．消化器癌の悪性化の病態解明と新規治療法の開発研究 2．消化器癌に対する新しい内視鏡およびロボット支援手術技術の開発研究 3．移植免疫の制御に関わる研究 4．臨床応用可能な臓器保存法の改良研究 5．細胞移植成績向上を目指した病態および治療法の開発研究 6．消化器外科領域における AI の応用研究 7．外科教育の効率化を目指した研究 8．小児悪性固形腫瘍と小児肝・胆道系疾患の基礎的研究と治療 9．小児消化管機能の基礎的・臨床的研究
	消化器外科学Ⅱ	平野聡 教授 七戸俊明 准教授	1．消化器癌の病態解明と外科的治療法の開発 2．鏡視下手術法・器具の開発 3．消化器癌高度侵襲手術における周術期管理法の研究 4．膵・胆道癌に対する集学的治療戦略に関する研究 5．分子生物学的手法を用いた癌悪性度を評価するバイオマーカーの探索 6．免疫治療に関するトランスレーショナルリサーチの展開 7．癌局所微小環境における免疫応答の解析 8．難治性癌に対する遺伝子治療に関する研究 9．外科教育学に関する研究 10．減量・代謝改善手術に関する研究
	腎泌尿器外科学	安部崇重 教授	1．下部尿路閉塞に伴う排尿筋過活動の発生機構の研究 2．膀胱刺激における神経伝導路の研究 3．慢性移植腎拒絶反応の発生に関する研究 4．移植免疫の機構及びその制御による治療法の開発に関する研究 5．腎癌の癌化・進展機構の研究 6．膀胱癌の転移・進展に関わる分子生物学的機構に関する研究 7．前立腺癌治療における QOL に関する研究 8．最小侵襲手術開発に関する研究 9．腹腔鏡手術における熟練者の鉗子動態の特徴解析
	心臓血管外科学	若狭哲 教授	1．重症心不全に対する外科治療に関する研究 2．機能性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療の研究 3．心筋保護に関する研究 4．オートファジーから見た心臓冷却保存の研究 5．心房細動と代謝異常に関する研究 6．大血管疾患に対するステントグラフト治療に関する研究
	乳腺外科学	高橋将人 教授	1．乳癌の生物学的特性に関する研究 2．乳癌の内分泌療法に関する研究 3．乳癌の発症メカニズムと予防に関する研究 4．新規の乳癌検診法開発に関する研究 5．乳癌手術法開発に関する研究 6．乳癌周術期薬物療法開発に関する研究 7．転移再発乳癌に対する薬物療法開発に関する研究 8．遺伝性乳癌に関する研究
	呼吸器外科学	加藤達哉 教授	1．低侵襲胸部外科手術の開発 2．肺癌の集学的治療における手術療法の研究 3．肺移植に関する研究 4．ナノ粒子を用いた胸部悪性腫瘍に対する光線力学的療法の研究 5．網羅的がん遺伝子検査を用いた再発診断および分子標的治療法の研究 6．免疫療法の研究 7．悪性胸膜中皮腫，胸腔内播種性病変の研究
侵襲制御医学	麻酔・周術期医学	森本裕二 教授	1．脳保護と脳蘇生に関する研究 2．生体侵襲と全身管理に関する研究 3．麻酔薬の神経毒性に関する研究 4．術後認知機能障害に関する研究 5．痛みの機序とその治療法に関する研究 6．呼吸周期の機序と薬物の影響 7．高気圧酸素治療の基礎と臨床 8．手術部患者情報管理システムの構築と医療経済学
	救急医学	和田剛志 教授	1．生体侵襲に対する病的生体反応の病態解明とその制御方法の確立 2．集中治療医学 3．心肺脳蘇生法 4．中毒学 5．災害医学 6．救急搬送・情報システム 7．外傷学

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
機能再生医学	整形外科学	岩崎倫政 教授	1．関節炎の病態解明と治療方法開発に関する研究 2．糖鎖を介した骨，軟骨代謝制御機構に関する研究 3．骨粗鬆症の病態解明と治療 4．椎間板変性の病態解明と治療方法開発に関する研究 5．運動器疾患の病態と手術的療法に関する生体力学研究 6．脊髄，末梢神経疾患の病態解明と治療方法開発に関する研究 7．AI を使用した運動器疾患の新規診断，解析，予後予測方法開発に関する研究 8．運動器疾患の遺伝学的および疫学研究 9．運動器の再生医療法の開発
	形成外科学	氏家英之 教授（兼担）	1．創傷治癒に関する分子生物学的研究と治療技法への応用 2．ケロイドの病態に関する基礎的研究と治療技法への応用 3．再建外科における組織移植手技の開発と臨床応用 4．皮膚軟部組織悪性腫瘍の分子生物学的研究と診断・治療技法への応用 5．血管・リンパ管等の脈管再生医学 6．Tissue Engineering によるバイオ臓器再生医療 7．顎顔面外科における病因解明と治療技法の開発
	リハビリテーション医学	向野雅彦 教授	1．運動障害の動作解析に関する研究 2．活動モニタリングに関する研究 3．生活機能統計に関する研究 4．遠隔リハビリテーションに関する研究 5．高次脳機能障害の評価手法に関する研究
	スポーツ医科学	近藤英司 教授	1．アスリートのパフォーマンス向上のための動作解析 2．変形性関節症に対する機能再建法の開発 3．関節の組織再生 4．生体軟組織の再構築機序の解明と制御 5．合成高分子ゲルの医療応用 6．運動器疾患に対する先端治療技術および材料の開発
生殖・発達医学	小児科学	真部淳 教授 長祐子 教授	1．原発性免疫不全症の早期診断法の確立 2．小児から AYA 世代におけるヘルスリテラシーの研究 3．小児の血液・腫瘍疾患の診断と治療に関する研究 4．小児の造血細胞移植と細胞療法に関する研究 5．新たな小児内分泌疾患の遺伝学的解析 6．神経疾患モデル動物を用いた病態解析と治療法開発 7．小児腎疾患における活性化壁側上皮細胞の役割についての病理組織学的研究 8．ミトコンドリアドラッグデリバリーシステムを用いた心筋再生治療における開発 9．新生児慢性肺疾患の予後改善に関する研究 10．先天性代謝疾患の臨床並びに基礎的研究
	産婦人科学	渡利英道 教授	1．胎児・羊水の生理に関する基礎的研究 2．出生前診断及び胎内治療に関する臨床的研究 3．妊娠合併症の母体・胎児・新生児の管理に関する研究 4．難治性不妊症に関する臨床的研究 5．卵胞内生理学 6．子宮癌発生機構並びに転移機構に関する分子生物学的研究 7．女性生殖器悪性腫瘍の抗癌剤耐性機構の研究 8．胎盤の増殖・分化の分子機構 9．卵巣癌の新規分子標的治療開発に関する研究 10．子宮頸癌に対する新たな効率的な検診方法の確立に関する研究
感覚器病学	皮膚科学	氏家英之 教授	1．表皮の分子細胞生物学の研究 2．遺伝性皮膚疾患の病態生理，診断，治療の研究 3．自己免疫性水疱症の病態生理，診断，治療の研究 4．皮膚悪性腫瘍の病態生理，診断，治療の研究 5．アトピー性皮膚炎の病態生理，診断，治療の研究 6．皮膚をターゲットとした再生医療，創傷治癒の研究 7．遺伝子治療，蛋白補充療法などの研究
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	本間明宏 教授 中丸裕爾 准教授	1．感音難聴の病因論に関する基礎的・臨床的研究 2．ウイルス感染による感音難聴の基礎的・臨床的研究 3．鼻アレルギーの基礎的・臨床的研究 4．好酸球性副鼻腔炎の基礎的・臨床的研究 5．悪性腫瘍の免疫学的研究 6．頭頸部癌に対する化学療法の基礎的・臨床的研究 7．頭頸部悪性腫瘍の分子生物学的研究
	眼科学	石田晋 教授	1．網膜細胞生物学 2．眼免疫と炎症 3．眼における神経保護 4．眼腫瘍病理学 5．眼表面疾患の病態生理および治療 6．眼循環代謝学

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
神経病態学	精神医学	加藤隆弘 教授	1．精神疾患に関する神経免疫学的研究（ミクログリア） 2．精神疾患のリバーストランスレーショナル研究（脳画像・血液バイオマーカー） 3．精神疾患の多元的診断および治療法の開発（ひきこもり・気分障害・てんかん 含む） 4．精神疾患の治療技法の開発（精神分析・認知行動療法・デジタル技術の応用） 5．精神疾患の精神病理学的研究（対人恐怖症・ひきこもり・摂食障害・犯罪・自殺） 6．向精神薬の開発と精神薬理学的研究 7．精神疾患の神経生理学的ならびに神経心理学的研究
	脳神経外科学	藤村幹 教授	1．悪性脳腫瘍の基礎的・臨床的研究 2．脳血管障害の基礎的・臨床的研究 3．脊髄外科の基礎的・臨床的研究 4．中枢（脳及び脊髄）神経再生の橋渡し研究 5．頭蓋底外科の臨床外科解剖 6．脳血管障害の遺伝学的研究 7．脳循環代謝の病態生理学的研究 8．小児神経疾患の臨床研究
	神経内科学	矢部一郎 教授	1．神経疾患の遺伝子解析及び分子生物学的研究 2．神経・筋疾患の組織化学的研究 3．免疫性神経疾患の発症機序及び治療法に関する基礎的研究 4．神経疾患のバイオマーカー開発に関する研究 5．臨床神経電気生理学 6．神経疾患における認知機能障害 7．神経疾患の疫学に関する研究
医生物学	神経生物学	神谷温之 教授	※2 1．軸索の神経生物学 2．シナプスの神経生物学
免疫科学	免疫生物学	清野研一郎 教授	1．腫瘍免疫に関する基礎的・臨床的研究 2．移植免疫に関する基礎的・臨床的研究（遺伝子改変ブタを用いた異種移植含む） 3．炎症性疾患に対する細胞療法の研究開発
	分子神経免疫学	村上正晃 教授	1．IL-6 アンプによる炎症の慢性化と病気の関係の解析 2．ゲートウェイ反射の分子機構の解明による心理免疫学の創成 3．ニューロモデュレーションによる病気治療法の開発 4．SNP による組織特異的な炎症誘導機構の解明 5．組織特異的な微小炎症の検出系と治療法の開発
	生命分子機構	野田展生 教授	1．オートファジーの分子機構の研究 2．液－液相分離が制御する生命現象の研究 3．構造に基づいた生体分子の作動機構の研究
癌病態学	幹細胞生物学	近藤亨 教授	1．神経幹細胞／前駆細胞の多能性・分化の分子機構に関する研究 2．幹細胞／前駆細胞の老化の分子機構についての研究 3．がん幹細胞の性状解析と治療標的についての研究 4．加齢性疾患と神経幹細胞／前駆細胞の関係に関する研究
	がん制御学	園下将大 教授	1．がん発生機序の研究 2．がん薬物耐性獲得機序の研究 3．新規がん治療薬シーズの開発

※1　指導を希望する場合は，指導教員ではなく教室に相談すること。

※2　今回の学生募集は実施しない。